



◀ そのほかの取材記事はこちらから

西野 康代 赤こんリポーター



観光列車「はなあかり」運行中

7月5日から9月28日までの毎土・日曜日に、JRの観光列車「はなあかり」が滋賀県を走っています。京都・敦賀間を1日1往復しているのですが、敦賀行は湖西線を、京都行は琵琶湖線を運行。豪華な内装や滋賀の美しい景色を楽しんでいただくことはもちろん、滋賀県内の主要な駅でおもてなしをすることが、この列車の特色です。近江八幡駅でも13分間の停車時間があり、近江八幡観光物産協会の呼びかけでいろいろなおもてなしをしています。7月6日はにぎやかにあづち信長出陣太鼓が和太鼓演奏を披露して、近江八幡をアピールしました。「はなあかり」は3両編成。見かけた人はレアな体験になりそうですね。

山田 恵美 赤こんリポーター

こどもが主役の本屋さん！
貸棚こども書店「ほんなら」

浅小井町にあるヴォーリズみらいビレッジ（旧近江兄弟社小学校）入口に今年の5月オープンした貸棚こども書店「ほんなら」。下駄箱として利用されていた棚を使い、小学6年生までの子どもとその保護者がオーナーになり、本屋経営ができます。棚に並べる本も値段も子どもたちが自由に選ぶことができ、「本を売る」という体験を通し、「お金」のことだけではなく、どうしたら売れるのかと工夫をしながら「自分で考える力」が学べます。

本と人、地域をつなぐちいさな本屋さん。どんな本に出会えるかな、おすすめの本は何か、と楽しみに向かい合っていて欲しいですね。



松村 美沙枝 赤こんリポーター

専門的な立場から伝える“大丈夫”
にじのわサロン開催

7月8日、はちはびひろばで「にじのわサロン」が開催されました。にじのわは令和6年に発足した子育て支援グループ。助産師、理学療法士、作業療法士など専門的な知識をもつメンバーが県内を中心に活動しています。

同サロンは自身の仕事や育児経験から0～1歳までの親子の関わりがとても大切だと感じ、すごく小さなことでも気軽に相談でき、専門的な視点でアドバイスできる場を作られたそうです。ちょっとした不安も、気軽に話し解消できることが、産後の親子にとって大きな安心を生み出します。

向坂 奈穂美 赤こんリポーター

生で体感！
和太鼓と三味線が奏でる圧巻の響き！

7月6日に開催された「わくわく和太鼓三味線ライブ」に行ってきました。会場は、酒蔵を改装した素敵なイベントスペース「サケデリック・スペース酒遊館」。暑い日にもかかわらず、蔵の中はひんやりと快適で、心地よい空間でした。ステージとの距離がとても近く、プロの和太鼓と三味線の生演奏はまさに圧巻！太鼓の音と三味線の繊細な音色が会場いっぱいに響き渡り、その迫力に思わず引き込まれました。演奏されていたお2人の奏者の仲の良さが印象的で、初めて和楽器の演奏を聴く人でも和楽器の奥深さに触れながら温かい気持ちになれる、素晴らしいライブでした。



市内のイベント情報ははこちらから▶

7月1日

おもてなしの準備着々と
びわ湖清掃&びわこの未来オモシロ会議

びわ湖の日（7月1日）に合わせた「びわ湖の日環境美化活動&びわこの未来オモシロ会議」が宮ヶ浜水泳場で開催されました。国スポ・トライアスロンの選手や会場を訪れる人を歓迎するため「おもてなし一斉清掃」として実施されたもので、約200人がごみ拾いに参加しました。

その後、さかなのおにいさん「かわちゃん」によるワークショップが行われ、子どもたちは自分たちの拾ったごみを思い出しながらびわ湖の環境を学びました。クイズでは元気な声が飛び交い、会場は大いに盛り上がっていました。

7月1日

社会を明るくする運動
メッセージ伝達式

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、安全・安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動で、今年で75回目を迎えます。同運動の強調月間である7月の初日、近江八幡保護区保護司会（岡谷会長）と近江八幡地区更生保護女性会（市川会長）の代表メンバーが合同で、本運動への参加・協力を求める内閣総理大臣メッセージを、小西市長へ手渡しました。

6月22日

日ごろの訓練の成果を競う
ポンプ操法大会開催

近江八幡消防署屋外訓練場で令和7年度近江八幡市ポンプ操法訓練大会が開催され、「小型の部（小型ポンプ操法）」と「自動車の部（ポンプ車操法）」で日頃の訓練の成果を競い合いました。早朝や仕事を終えた後から集まり、日々訓練をしてこの日を迎えた各分団の選手たち。力いっぱいホースをかついで走り、ホースを展張・結合し、火点に放水が当たると大きな拍手と声援が広がりました。結果は、小型の部は馬淵分団、自動車の部は桐原分団が優勝。小型の部で優勝した馬淵分団は、第60回滋賀県消防操法訓練大会に本市の代表として出場します。

6月20日

子どもたちの通学の安全を守る
金田学区にパトライト設置

近江八幡地区交通安全協会から、上田町自治会への「パトライト」の寄贈式・点灯式が八幡東中学校で行われました。パトライトは、金田小学校や八幡東中学校の児童が通学に使う横断歩道に設置。同協会からは過去に、市役所前横断歩道に注意喚起灯「ゆずるくん」、市内さくらっ子保育園前横断歩道に「横断者サポート表示灯」などの寄贈も。寄贈式では、同協会・上阪会長が「パトライトを見て、さらに自分の目でも確認することを忘れないようにし、金田学区から交通事故が出ないようにしてほしい。この光を起点に、安心・安全なまちになれば」と話しました。